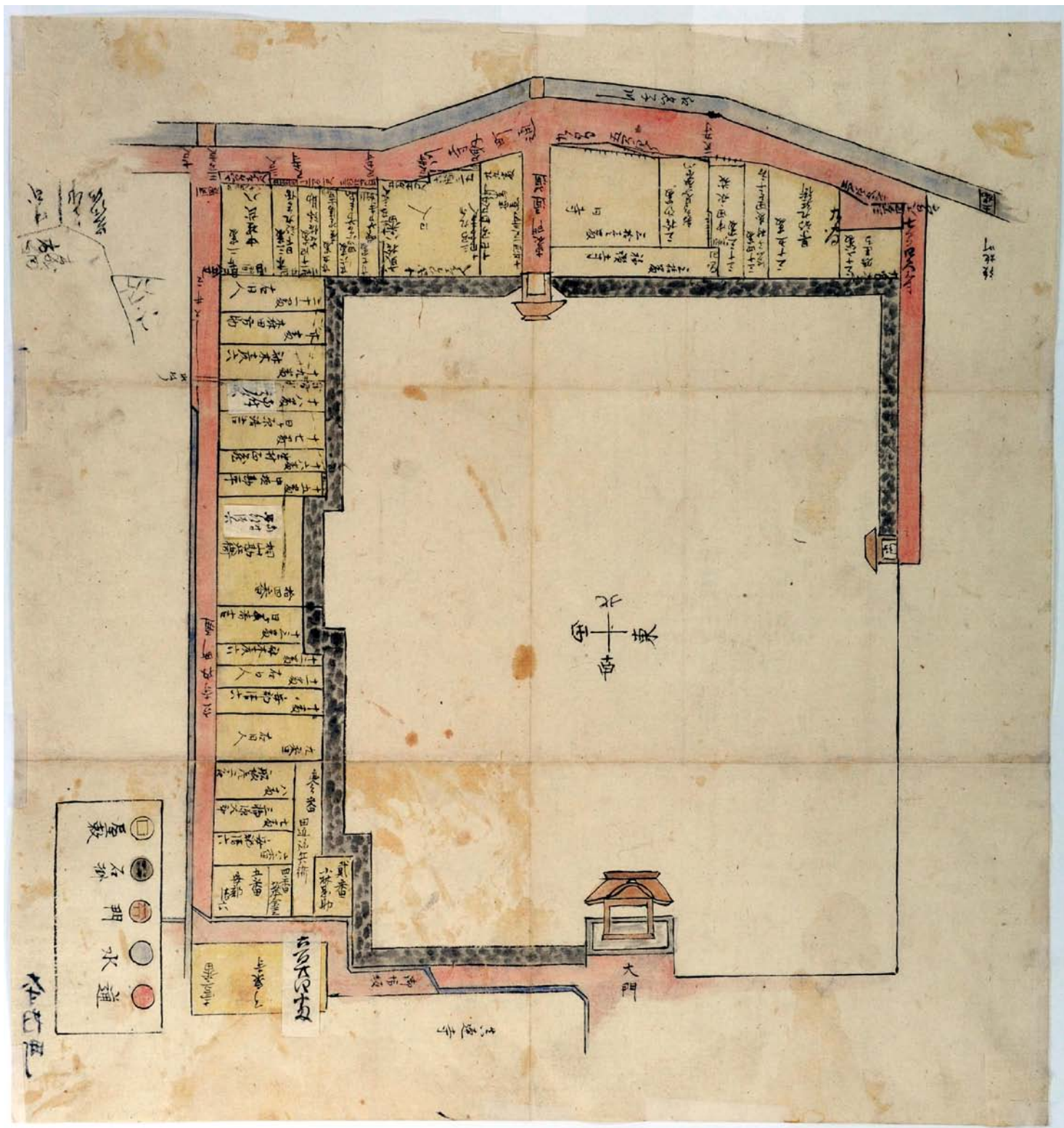
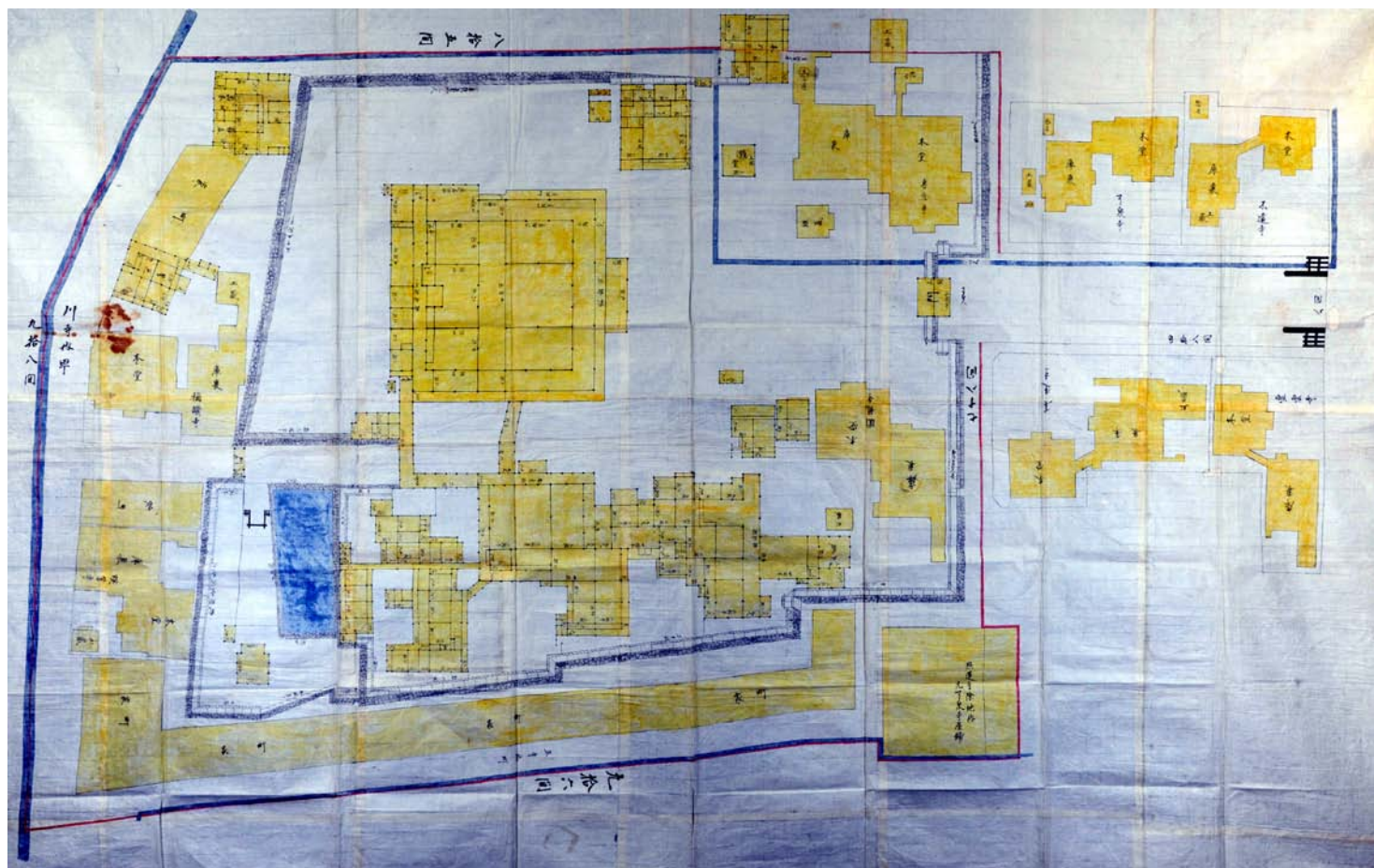




(第 45 図)



(第 46 図)

(44) 寺内町絵図、高山別院照蓮寺境内図 (第 45、46 図)

〈第 45 図〉

年代 江戸時代末

寸法 39×41.5

所蔵 高山市教育委員会 (町会所文書)

〈第 46 図〉

年代 明治 30 年頃

寸法 154.2×238.8

所蔵 高山市教育委員会 (高山町役場文書)

第 45 図は照蓮寺周辺の町家住民が記されており、図上、下の右から、七番三輪源次郎、拾四番桐山勘兵衛の名が見える。

南北の通りは、「立寺内町通」、東西「川寺内町通」と記される。

第 46 図は照蓮寺および寺内 8 カ寺町と寺内町の建物を黄色で採色し、照蓮寺の本堂・庫裡等は間取り・間数が記される。南側の門を入ると境内地の中に専念寺と円龍寺がある。間取りは記されていない。

第 46 図中の専念寺・真蓮寺・了泉寺・咲芳寺・称讃寺の位置は現在と変わらないが、円龍寺は不遠寺の位置へ移転し、不遠寺と霊雲寺は移転している。

照蓮寺は真宗大谷派の寺院で、金森長近の城下町建設に際して白川郷から移された。のち元禄 16 年には本山懸所となり、寺務は本山派遣の輪番によって執行された。

※掲載されている情報（文章、写真など）は、著作権法上認められた例外を除き、高山市教育委員会に無断で複製・引用・転用・転載などの利用をする
ことはできません。